

ウェイトトレーニング部 再び、世界へ ——ポーランド大会

前川選手(産 三)：6位
 岡本選手(院法一)：11位



右から前川選手・岡本選手・古谷選手



スクワットを行う岡本選手

九月九日(火)からポーランドで開催された「世界ジュニアパワーリフティング選手権大会」へ本学ウェイトトレーニング部の前川昌範選手(産三)・岡本孝義選手(院法一)・古谷和也選手(商三)の三名が出場。前川選手が六十kg級六位、岡本選手が六七・五kg級十一位という成績を収めました。

「世界的に見ると、パワーリフティングが思ったよりメジャーなスポーツで驚きました。」
 と言う前川選手。各国の選手や地元ファンとの熱い交流が印象的だったとのこと、「地元

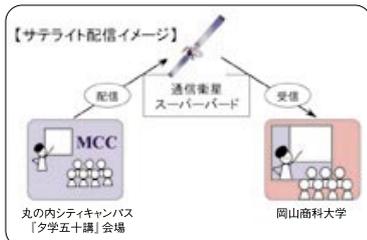
のちびっ子にサインをねだられました。百人以上にサインをしたかも知れませんが、あまりの多さに最後は閉口したようでしたが、「日本では考えられないこと」と強烈な思い胸に刻んだようでした。

二年連続出場の前川選手は、昨年と同じ結果の十一位にちよつぱり不満そう。「成績は去年より良かったんですが、雪辱を期して臨んだ大会だっただけに、言葉の端々に無念さがにじんでいました。しかし最後には「海外選手との体格の違いを痛感しました。来年は階級を落としても、再度挑戦します！」と力強い言葉で結んでくれました。

衛星通信による文化講座

「夕学五十講」を受信・開講

本学は、(株)慶應学術事業会とパートナー契約を結び、東京・丸の内シテイクキャンパス(MCC)での定例講演会「夕学五十講」を衛星通信にて受信、「岡山商科大学 社会人教育特別講座」として十月から開講します。



第一線で活躍の大学人・企業人等による衛星講座

「夕学五十講」は、「時代のメインストリームを讀み解く」をコンセプトに、大学人をはじめ、企業人・文化人などを講師に招き、東京・丸の内で行われる講演会の中で、本学ではこれを通信衛星により受信、社会人(本学学生も可)対象の講座として開講します。各分野の最先端の話を手軽に聞き、勉強することができます。(詳細は八面)

Contents 73

キャンパスニュース	
英語プレゼンテーションコンテスト開催	2
— 国際観光学科	
— 生涯学習大学開講	
— 社会総合研究所 他	
留学生学外視察研修	3
— 岡山の「美」探訪	
夏季情報講座を開講	
— 情報教育センター	
— 実り多かった学外研修	
— 国際観光学科	
就職便り	
私の就職活動	
— ある四年生の記録	4
企業社会を学ぶ	
— インターンシップへ十六名 他	
OBからのメッセージ	
本を読もう	
— 一本学卒業生 渡部恭典氏	5
学生のひろば	
中四国で団体の勝利—柔道部—	6
「高く厳しい壁でした」	
— 囲碁・将棋部 張勇さん全国大会へ 他	
— パーフェクトで二連覇	
— 卓球部中国大会 他	7
お知らせ	
社会人教育特別講座「夕学五十講」開講へ	8
— 社会総合研究所	
資格試験受験者に支援金	
— 最大三十万円を支給	
— 社会総合研究所 他	

個性光る！

国際観光学科で 英語プレゼンテーション コンテスト開催

七月二十六日(土)、高校生のための「観光に関する英語プレゼンテーションコンテスト」が国際観光学科主催、山陽新聞社・岡山市観光協会後援で開催されました。岡山、香川、高知県から十組の高校生の参加を得て、観光に関するプレゼンテーションが行われました。

テーマは、各地の観光案内から国際交流や環境問題まで多彩なものでした。同時に、スピーチをより効果的にするため、コンピュータやOHPを利用して写真などの資料も提示されました。最新の機器を利用して画像処理された写真や資料には非常に視覚的に訴えるものがありました。しかし、写真以上に、人間の手で描かれた絵が、聴衆の心を捉えたことも忘れられません。

なお、高知県立高知南高等学校では、国際観光学科の英語の授業で、本コンテストを教材として取り上げて下さったことで、二年生三十名が応募してくれました。本学のコンテストが高等学校の英語授業の課題に取り上げられましたことを心からうれしく思います。



第1位の吉田沙織さん



成績は以下の通りです。

●第一位

吉田 沙織

「二十一世紀の観光」

(岡山県立総社高等学校)

●第二位

石井 直美・黒田真寿美

「オーストラリアの一枚岩」

(私立岡山学芸館高等学校)

見習いたい 学習意欲

生涯学習大学

社会総合研究所では、岡山県の委託を受け、八月と九月の計十二日間「岡山県生涯学習大学」(大学院コース・専門教養コース)を開催しました。

これは岡山県が主催で、県民の多様化・高度化する学習需要に応えるため、社会の様々な教育機関との連携を図り、多様な学習講座を体系化し、学習機会を提供するものです。

八月開催の大学院コース(学習成果の積み重ねを地域での指導やボランティア活動

●山陽新聞社賞
渡邊 綾子・山本 暁子

「夏の夜の幻想―青森ねぶた祭り―」

(岡山県立倉敷商業高等学校)

バスの購入など承認 十五年度 後援会総会

平成十五年度「岡山商科大学後援会総会」が六月二十一日(土)本学本館大会議室で開催され、約五十組の保護者の方々にご出席いただきました。役員を選出・平成十四年度の事業報告・平成十五年度事業計画など五つの議案について審議され、すべて承認されました。

十五年度の予算で主なものに老朽化したマイクロバスの購入があります。学園バスは試合の遠征など、学生生活の重要な足としてなくてはならないものですが、使用頻度が高く、しかも長距離で使用されることが多いため、痛みも早くなります。今回の承認を受けて、早速購入いたしました。

社会へ船出 決意新たに 前期学位記授与式

(総務企画課)

その他、学内の放送設備の整備・コンピュータの整備などに利用させていただくことになっていきます。今後も快適で充実した学生生活のため協力よろしく願っています。

社会へ船出 決意新たに 前期学位記授与式

九月二十二日(月)前期学位記授与式が挙行され、学部十七名、大学院七名が学位の授与を受けました。

学長の「かつてこれほど世の中が急激に変わってきたことはありません。絶えず学ぶ姿勢をもつて社会とぶつかって欲しい」との言葉に、代表の清水圭(商)さんが、「厳しい現実を受け止め、どのような困難に直面しようとも、謙虚な心で臨んでいきたい」と答え、社会へ船出の決意を新たにしました。

社会へ船出 決意新たに 前期学位記授与式

生かすより高度な実践力を身につける講座)では「経営と情報のグローバルな世界」をテーマに本学の産業経営学科教員による講義が行われ、三十四名の受講者がありました。講座では、経営、情報、品質、経営者の思考様式における日米の違い、与えられたテーマでのグループディスカッション、岡山県の経済事情や産官学の連携、インターネットを用いた海外旅行情報収集など、最新的话题を中心に多彩なものとなりました。九月には専門教養コース(専門性の高いものや現代的課題に関する講座)「初歩から学ぶWORD講座」が行われ、こちらは四十五人の受講者がありました。

WORDの起動から始まり、文字入力、同好会の会報の作成、カレンダー作成、はがきの住所録及び文面の作成まで、徐々に高度な内容を学ぶことができるカリキュラム構成になっており、「日常生活にマッチした実習」と大変好評でした。パソコンの普及に伴い、自分でWORDなどを利用して実生活で役立てようと、受講生一人ひとりが課題に取り組みまれています。

参加者は皆、熱心に受講され、休憩時間、昼食時も交流を重ねられて、生き生きとされた表情が印象的でした。「毎年商大の講座を楽しみに参加しているが、毎回新しい知識・知恵を得る思いで感謝している。来年も是非受講したい」など、嬉しい声が聞かれました。

岡山の「美」探訪 留学生視察研修



「美」から生まれる「伝統」を体験

梅雨もあけた七月末、恒例の留学生学外視察研修が開催され、五十名の留学生が参加しました。(三十一日(木))

今年訪問したのは岡山県の東、いわゆる東備地区で、古くから伝わる日本の伝統文化を体験することが目的です。

最初の訪問地は、伝統的焼物の一つ「備前焼」発祥の地、備前です。備前焼は奈良・平安時代から脈々と受け継がれてきた伝統文化で、釉薬を用いない独自の美が育まれてきました。岡山県備前焼陶芸美術館と窯元を訪ねましたが、すでにある程度の知識を持ち、熱心に質問をする学生もいて、その向上心と意欲に驚かされました。次に訪れたのは和気の閑谷学校。江戸時代、岡山藩主の池田光政公が開いた庶民の

実り多い学外研修 国際観光学科 観光サービスマスター

前期講義終了と同時に、観光学科の学生十名の参加のもと、島根県松江市と島根町にて、三泊四日の観光サービスマスター実習を行いました。観光サービスマスターとは、授業で学んだ観光に関する理論を、実体験を通じて学習する科目です。

各地でヒヤリング
まず、それぞれの観光資源を検討した後、自治体の観光に対する取り組みについてヒヤリングを行いました。松江市ではフォーゲルパークやルイス・C・ティファニー庭園美術館等の新設で観光客が増加傾向にあること、一方、島根町では美しい自然を満喫できる海水浴やグラスボート、一年を通じてのダイビング等の観光資源にもかかわらず、知名度の低さや観光開発の遅れなどから、観光客が伸び悩んでいることなどを伺いました。

苦言を一つ…
実習に参加して感じた点は、参加学生がどこへ行っても「いつもの自分」のままであることです。旅行の目的や行先に応じて適当な服装や言葉遣いなどがあると思うのですが(例えば、イスラム教の寺院には肌を見せた服装では入れません)、どこに行っても「いつもの自分」の言葉遣い・服装でいいのでしょうか?

さて、観光サービスマスター実習の楽しみの一つは留学生との交流です。島根町では自炊で、中国からの留学生が夕食を何品か用意してくれました。その中の一品が茄子と挽肉の料理。茄子と挽肉の料理。茄子と挽肉の料理。



天山隠岐国立公園 島根半島 瀬戸
島根町観光協会より

と挽肉の料理。茄子と挽肉の料理。茄子と挽肉の料理。

といえば、ほとんどの日本人が麻婆茄子を連想すると思いますが、留学生の料理は茄子と挽肉を炒めて塩と化学調味料で味をつけたものでした。最初「塩だけ?」と驚きましたが、皆の反応は「ビールにあう」、つまり、とてもおいしいということでした。参考までに作り方を紹介しておきます。

生姜一片の千切りを油で炒め、香りが出たら、赤唐辛子の糸切りと豚挽き肉をいれて炒める。火が通ったら、皿に取る。同じ中華なべで茄子の五ミリ角程度の拍子木切り(細長く切る)を油で炒め、挽き肉を戻す。塩と化学調味料だけで味をつける。お試しください。

English Excursion in 姫路城



英語でもだいじょうぶ!?

六月七日(土)、国際観光学科の学生二十六名が、姫路城へ英語遠足(English Excursion)に出かけました。目的は、世界遺産に登録された姫路城を、英語ガイドの案内によって見学することです。

もし、あなたが兵士なら?
姫路で活動されている善意ガイド「かしの木会」のボランティアガイドの方に英語で案内をしていただきました。「もし、あなたがたが姫路城を攻撃する兵士なら、天守閣まで生き残りて進むことが出来ますか?」と興味を引くような質問を交えて案内してくださり、学生たちも熱心に聞いていました。

中には、姫路城の外国語案内標識の現状調査という、明確な目的を持って参加した学生もあり、ガイドの方々は個別の質問にもいろいろお答え下さいました。

重要な目標設定

国際観光学科では、学外での行事が色々行われますが、参加する学生は、自分なりに学習目標を持ち、それを解決していくように参加して下さい。今度、このような英語ガイドを聞く場合には、単に英語を聞くだけでなく、自分なら英語でどう説明するか考えながら聞いて欲しいと思います。

夏季情報講座開講 情報教育センター

この四月高大連携の推進を主眼として設置された「情報教育センター」ですが、その企画として、夏季休暇を利用した「高校生のための情報教育講座」が、八月一日(金)～三日(日)

の三日間、本学パソコン室で開催されました。

多様な情報が氾濫する現代社会。それらを切り取り、分析し、そしてどう考えるか。その方法論を、主に工



のための学校で、世界でも最も古いものです。国宝に指定された講堂、屋根に使われた備前焼の瓦、中国から伝えられたという「楷の木」など、その美しさでも指折りのものといえます。地元のボランティアガイドの方の案内で校舎を見学した参加者は、岡山県の教育の原点ともいえるこの地の歴史とその美を感じていたようでした。

昼食は八塔寺ふるさと村(吉永町)の高原寺で「精進料理」を味わいました。肉魚を一切使わない料理に最初は少し戸惑いを覚えたようでしたが、そのシンプルな味に魅せられ、おかわりをする学生もありました。食後はご住職や商学部の高井教授の案内で周辺地域の歴史や風土の見聞を深めました。

最後の訪問地は、キリンビール岡山工場でした。「緑豊かな自然とおいしい水に囲まれて、初めておいしいビールを造ることができるのです」との説明に一同大きくうなずき、食に通じた豊かな岡山の自然を感じていたようでした。工場見学の後はできたてビールの試飲!一日の疲れも忘れ二杯、三杯とグラスを進めていきました。

クセルを活用しながら学びました。極めて身近な話題を具体例としながら、興味を持って学んでもらえるよう組み合わせた講義に、好評を得ました。

前半の講座を担当した佐井教授は「受講生はとても熱心で、充実した講座になりました。今回受講した内容を今後の生活でも活かしてほしいと思います。」と述べました。

講座内容

- 「エクセルで確率・統計に挑戦しよう」
- 「ランダムとは」
- 「シミュレーションについて考えてみよう」
- 「視察率調査は信頼できるか」
- 「エクセルで経済を見てみよう」
- 「企業を経済学でみてみる」
- 「企業を評価してみよう」

▶ 就職便り

～ 3年生のみなさんへ～

「自分探し」の旅に出かけよう！

厳しい残暑もようやく終わり、秋本番を迎える頃となりましたが、3年生の皆さん、準備は整いましたか？

そう、本格的な「就職活動」の始まりです！！4年生 中村君の就職活動記にもあるように、就職活動の中で多くの失敗や成功、いろいろな試行錯誤を繰り返しながらさまざまな経験を積み重ね、一年後には知らず知らずのうちに一回り大きな自分に会うことができます。「失敗は成功のもと」と言います。何事にもくじげず、夢や目標、元気を忘れず、一緒になって「自分探し」の旅に出かけましょう！

(就職課)



私が就職活動を始めたのは三年生の十二月ごろで、後期に入ったころから学校での就職

ガイダンスに積極的に参加し、就職サイトに登録をはじめ、企業に対してエントリーをするようになりました。そして、二月ごろから合同企業説明会にも参加し、より深い企業研究をしていきました。

三月に入ってから会社訪問を積極的に行うようになりました。会社訪問は基本的

私の就職活動

商学部 産業経営学科四年

中村 吉孝

(建設関連会社内定)

に一对一で行っていたただけるので、自分の質問したいことなどを存分に行える非常に有意義な時間です。

そして三月・四月頃から入社試験が始まります。一次試験が始まり、企業によって最終的には四次試験まで行う企業もあります。私はこのころに数多くの企業を受験し、数社において最終試験まで残ることができました。しかし、自分の実力がなかったせいか、なかなか採用には至りませんでした。世間で言われている「就職難」という言葉が身にしみてわかりました。しかしここであきらめてしまうと終わってしまってもわかっていたので、最後までやり通した結果、七月に内定を頂くことができました。この八か月の就職活動で得たことは社会に出てからも役に立つことが多いことがわかりました。これから就職活動をはじめ後輩のみなさんも、最後まであきらめず頑張ってくださいと思います。

企業社会を学ぶ

十六名が

インターンシップで研修

本学就職課では岡山県経営者協会の協力を得て、夏季インターンシップを行っており、本年度は県内外の事業所十か所へ、計十六名の学生が参加して、働くことの喜びや厳しさを体験したのです。

五月末に参加の申し込みを行った学生は、希望企業とのマッチングのための面談を受けた後、各学生の受け入れ先が正式に決定します。事前の講習会などを経て、いよいよ夏季休暇にインターンシップ本番を迎えるわけです。

今回はその中の一つ(株)天満屋岡山本店へおじゃまして、みなさんの働きぶりを取材させていただきました。

一階婦人靴売り場に配置されたのは板野昌美さん(商三)。研修の感想をうかがうと、「一日中立ちっぱなしの仕事なので、足が痛く大変です。実際に接客してみると机上で学ぶことだけではわからなかったことも見えてきて、ためになり、職業選択の視野も広がりました。」とのこと。取材中



商品について従業員の方から学ぶ前田君



接客中の平中君

も、にこやかに接客にあたる板野さん。二三分ほどお客様とコミュニケーションを図り、見事お買い上げいただけていました。初々しい手つきで商品をお渡しし、お客様を送り出す板野さんはすばらしい笑顔でした。

地下食料品の果物売り場で働くのは、前田義範さん(商三)。「本当によくがんばってくれています」と売り場責任者の方もその働きぶりに感心の様子。棚の整理をしたり、先輩店員の方の指導を受けるその眼差しは、ファイナダー越しにも引き込まれるほどの真剣なものでした。

婦人服売り場での研修は、平中王将さん(商三)。男性である彼は、最初戸惑いがあつたのではないかと、配属を知らされた時、どうでしたか?と尋ねてみましたが、「やっぱりびっくりしました。」と想像通りの答え。しかし、「従業員の方に教わったり、ファッション雑誌などを読んで勉強しています。一人の従業員の対応が店全体の印象につながるということを、身をもって体験し本当にいい勉強になります。お客様に商品をお買い上げいただいたときの感動は忘れられません!」臆せず堂々と接客する姿に、与えられた機会を最大限活用したいという心意気が伝わってきました。

本を読もう

商学部商学科 第十四期卒業生 渡部 恭典
(農林水産省勤務 農業者年金基金 総務課課長補佐)



昭和五十七年に卒業して、農林水産省に勤務しています。

採用直後の三年間を地方の出先機関で勤務し、大臣官房勤務を経て、現在は、二年前から特殊法人の農業者年金基金に出向中です。今年十月から独立行政法人への移行に向け、準備作業に追われている毎日ですが、この原稿が掲載される頃には仕事も一段落しているはずです。

私は、現在の四年生が生まれた年には、大学を卒業して就職していた訳ですから、あのバブル経済を経て、社会、経済環境などが大きく変化した今、二十年以上前の私の学生生活の話が、後輩諸君のどれだけ参考になるか疑問ですが、当手を振り返って見ると、寸暇を惜しんで、本ばかり読んでいた毎日でした。

親からの仕送り(当時は、今のように銀行のオンラインサービスシステムが整備されていなかった)で現金書留(だけでは、本代が足りない)ので、読書時間が確保できる休日の昼間の中学校の警備や、車輛基地での新幹線の掃除(列車の入れ換えの待ち時間中が読書時間)のアルバイトをして、一か月当たり二〜三万円ほどは、本代に使っていました。高校時代はそれほど読書は

しなかったのですが、大学に入ってテレビのない生活からスタートしたのが、原因なのでしょうか、一年生の後期頃から一種の活字中毒状態になってしまい、何か読んでいないと時間を損したような気分になり、あらゆる分野の本を好奇心に合わせて、三冊くらい同時に読んでいました。おもしろ

繁に利用するようになりました。また、教授の研究室に行くときと研究目的に併せて非常に膨大な量の資料を収集されていたので、全集物、発行部数の少ない貴重な本などをお願いして借りて帰ったこともあります。あらゆる本を乱読しましたが、たとえばローマ史関係であれば、関連する本を手当

乱読で得たのは

物事の本質を判断する能力

読書三昧の日々を勧めます

い本は徹夜してでも、一気に読んでしまうため何度か授業も自主休講していたと思います。

今はどのようなシステムになっているのか分かりませんが、二年生の時には、大学図書館に申請すれば、蔵書になれば比較的簡単に、自分の読みたい本を購入して貰えることがわかり、それ以来、図書館を頻

つていけば普段絶対に読むことのない雑誌や新聞を読んだことも、インターネットなどないあの時代には、並行してやっていた民間企業への就職活動の際に、非常に役に立ったと思います。

さすがに、社会人になると、通勤途中や休日には読書時間は確保できないし、狭い我が家では、読書に没頭して家族の相手をしていないと文句を言われ、本を置く場所にも困って田舎の実家に置いて貰っているのが現状ですが、読書は続けています。最近では、日曜日には近所の市立図書館に通って本を借りることにして、どうしても手元に置いておきたい本が、話題になっている本で、早く読みたい時しか買わないようにしています。

読書がすぐに、仕事や就職活動に、役立つと断言できませんが、学生時代の読書は物事の本質が何であるかを判断する能力を高めるためのトレーニングには、最適だと思います。

四年間の学生生活の期間中、一年間くらいは読書三昧の日々を送ることを勧めます。大学図書館の蔵書は、私の学生時代よりずっとその内容を充実させているはずですよ。

たりしたい片っ端から読むといった、読書をしていったと思います。この読書法によって、最後まで読むべき本が、途中で中止すべき本が、判断できるようになったと思います。

また、アルバイトの新幹線掃除の際に、乗客が置いて行った経済雑誌や発行部数の少ない業界新聞など、普通に学生生活を送

柔道部

中四国で圧巻の勝利

十一月全国大会へ

八月十六日(土)山口県の徳山大学体育館で開催された「平成十五年度中四国学生柔道体重別団体優勝大会」において、本学柔道部は圧倒的強さを示し優勝、十一月に開催される全国大会出場の切符を手に入れました。

一回戦から準決勝までオール一本勝ちのパーフェクトな内容の商大柔道部は、決勝戦で松山大学と対戦。決勝でも七名のうち、六名が一本勝ちを収めるというまさに完璧な内容で優勝をさらしました。寝てよし、立つてよし、抜群の安定度を示した試合となりました。

大谷監督(法経学部教授)は「勝負負の形で勝ち負けはある。しかし柔道にどのように取り組むかという姿勢については厳しく指導してきた。その結果として今日の勝利があるでしょう。」と語り、「全国大会でも十分通用する戦力」と並々ならぬ自信をのぞかせていました。



岡本選手の技が見事に決まる!



出場した14名の選手達

なお、優秀選手に次の二名が選出されました。

優秀選手

原野 陽(商学科四年)

菊川 顕(法学科三年)

囲碁・将棋部

高く厳しい壁でした

全国囲碁大会出場

張 勇さん

二〇〇三年七月三十日から八月一日、東京の日本棋院において全日本学生本因坊戦が行われ、私は中四国の代表の一人として出場しました。

六月にあつた予選では見事一位で大会の出場を決めたものの、学校の授業が忙しくふだんあまり囲碁を打つことができませんでした。そのため、この大会で全国の強豪たちを相手に勝ち上がっていくことができ

リーダーとしての自覚を新たに!

ボランティア活動に理解を

学友会四本部及び各サークルの代表者等を対象とした、平成十五年度リーダーズ研修会が六月十四日(土)開催され、今回は最近各方面でクローズアップされてきているボランティアに関する取り組みについての講演を行いました。

本学の学生諸君もボランティアについて正しく理解し、意識の向上をはかる意味からこれを企画し、岡山県社会福祉協議会岡山県ボランティア・市民活動支援センターより講師として石井慎一氏をお招きしました。「今だからボランティア!」というテーマで講演は、ボランティアを通じての積極的な社

るのだろうか不安でした。

そして迎えた一回戦、相手は九州代表。きわどい勝負でしたが、なんとか勝つことができ、少し安心したと同時に自信をつけることができました。

しかしほっとしたのも束の間、次の二回戦では序盤から自分の思うように打つことができず、そのまま最後まで盛り返すことができないまま負けてしまいました。完敗でした。もう少し練習する時間があつたらという悔しい気持ちで一杯になりました。一緒に参加した



対局中の張さん(写真左)

ほかの仲間達も負けてしまい、誰もベストエイトまで進むことができませんでした。やはり全国の壁は高く厳しいものでした。今年も四年生なので商大生として本因坊

戦に出るのはこれで最後になりますが、まだ全国大会は今年あと二回あります。この大会の悔しさをバネにして、これからできるだけ碁を打つ時間をつくり、次の大会ではチャンスを自分のものにして良い成績を残したいです。そしてできれば商科大学の名前を歴代優勝者の中に刻みたいと思います。(法学科四年)



ボランティアへの理解を深めた

今後とも学友会と全学生及び教職員との連携を密に図り、より円滑な組織運営がなされることを期待し閉会いたしました。(学生課)

卓球部

パーフェクトで二連覇 中国大会

全員で掴んだ優勝

卓球部主将 陶浪信一(商三)

我々卓球部は、今年五月に行われた「中国学生卓球選手権春季リーグ」と八月中旬の秋季リーグにおいて、二大会連続優勝を成し遂げました。二〇〇一年以来の二度目の連覇となり、部員一同大変誇りに思っています。

しかしこの優勝は決して容易ではありませんでした。昨年度の春季リーグで一部最下位となり、二部と一部との入れ替え戦にも敗れ、十年間守り続けてきた一部の座を奪われることになりました。その時、部員の殆どが涙を流した事を鮮明に覚えていいます。しかしそこから一致団結し、同年の秋季リーグで再び一部へと返り咲きました。そして今年、まさにゼロからのスタートとなった我々は、昨年の反省を生かし、必死で練習を続けました。今年は強力な一年生の加入に加え、全円子コーチの適切な指導もあり、部全体が日に日にレベルアップをしていきました。

更に、他校との練習試合を多く取り入れ、一番の課題であった「試合慣れ」も徐々に



神がかり的プレーも随所に見られた

に克服されました。試合前日には何人かで必勝を誓って会食をしたりもしました。より一層強い団結によって勝ち抜いていったのです。

一言で連覇といっても、本当に際どいゲームの連続でした。中でも広島大学と島根大学との対戦は二大会とも四対三という激しい競り合いで、気を抜いたほうが負けという場面も多かったです。集中力もしかることもながら、団体戦特有の神がかり的なプレーも随所に見られ、深い感動を与えてくれました。

私はこの優勝が誰か一人の活躍によって行われたものだとは思っていません。選手一人ひとりが高いモチベーションでその実力を発揮し、また応援する人も積極的に声を出し、場を盛りあげました。正に全員で勝ち取った勝利だと思います。この優勝に驕ることなく、より高いところを目指して精進していこうと思います。

試合結果

団体

優勝/岡山商科大学

ダブルス

優勝/米本拓郎(商一) 王遠(商一)

シングルス

優勝/王 遠

ベスト4/陶浪信一(商三)

ベスト16/小山裕司(商二)

ダブルス・シングルス四名は十月二日～五日 兵庫県尼崎市で開催される全日本学生卓球選手権大会へ出場します。

新サークル仲間入り 風・水の音を聴く

ボート同好会 部長

片岡 幹博

(産業経営学科一年)

ボート同好会のプロフィールを紹介してください

はい、僕たちボート同好会は、今年の六月に同好会として認められたばかりのので、たてのサークルです。部員は男子九名、女子一名の合計十名で現在活動しています。



百間川での練習風景

んどさは並のものではありません。しかしそれを克服することで精神的に強くなることができます。次にチームワークを大切にすることです。ボートは皆が息を一つにして漕がなければよい結果を得ることができません。チームワークの育成を目指して練習することはとても大切なことだと思っています。

話をうかがうと、かなり厳しい競技のようですが、確かに、安易な気持ちで入っても長続きしにくいかもしれません。

しかし、ボートの最大の魅力は、「水の音、風の音を聴く」ことができることです。耳元で風が空気を切り裂く「シューッ」という音、櫂が水をすくいとるダイナミックな音、それらが渾然一体となったものを体全体で感じることができるのです。このスコサ：感動は体験した者でないといけません。

体験入部ができると思います。

興味ある人はとりあえず体験入部をして欲しいです。そしてボートを味わってもらいたいのです。部員が多ければ多いほどさまざまな艇に応じた試合ができ、楽しみも深まります。みなさんの体験入部をお待ちしています！

入部希望者は体育会本部または学生課まで問い合わせてください

資格等名称	支給額
国家公務員採用 種試験	200,000円
国家公務員採用 種試験	20,000円
国 税 専 門 官	20,000円
通 関 士	20,000円
地方公務員試験(大学卒業程度)	20,000円
公 認 会 計 士	300,000円
司 法 試 験	300,000円
不 動 産 鑑 定 士	200,000円
税 理 士	200,000円
司 法 書 士	200,000円
中 小 企 業 診 断 士	100,000円
社 会 保 険 労 務 士	100,000円
弁 理 士	100,000円
土 地 家 屋 調 査 士	100,000円
行 政 書 士	30,000円
宅 地 建 物 取 引 主 任 者	20,000円
一 般 旅 行 業 務 取 扱 主 任 者	50,000円
国 内 旅 行 業 務 取 扱 主 任 者	20,000円
国 会 議 員 政 策 担 当 秘 書	100,000円
フ ァ イ ナ ン シ ャ ル プ ラ ン ナ ー 1 級	100,000円
フ ァ イ ナ ン シ ャ ル プ ラ ン ナ ー 2 級	20,000円
上 級 シ ス テ ム ア ド ミ ニ ス ト レ ー タ	50,000円
初 級 シ ス テ ム ア ド ミ ニ ス ト レ ー タ	20,000円
基 本 情 報 技 術 者	20,000円
その他(上記と同等と認められる国家資格)	20,000円

岡山商科大学 社会人教育特別講座

夕学五十講

せきがく

衛星講座

社会総合研究所では東京・丸の内シティキャンパス定例講演会を、衛星通信にて受信、主に社会人(本学学生も可)を対象とした教育特別講座として開講します。
詳しくは社会総合研究所(086-256-6656)までお問い合わせください。

ホームページ
<http://www.osu.ac.jp/syaken/sekigaku/sekigaku.htm>

- 10/28 (火)** **窪山哲雄** 株式会社ザ・ウィンザー・ホテルズ
国際ナショナル代表取締役社長
[コメンテーター]
ケビン・D・ワン ワゾンワイアット株式会社
コンサルタント
「付加価値創造のためのサービスホテル学」
- 10/29 (水)** **藤巻健史** 株式会社フジマキ・ジャパン
代表取締役
「マーケットも人生もハイリスク・ハイリターン
ローリスク・ローリターン」
- 11/6 (木)** **村井 純** 慶應義塾大学環境情報学部 教授
「ユビキタス情報社会のインターネット」
- 11/11 (火)** **近藤隆雄** 多摩大学経営情報学部 教授
「価値創造のためのサービスマーケティング」
- 11/13 (木)** **安藤忠雄** 建築家
「夢を探す」
- 11/20 (木)** **御立尚資** 株式会社ポストコンサルティング
グループ ヴァイス・プレジデント
「インサイト:戦略構築の本質」
- 11/26 (水)** **高塚 猛** 福岡ダイエーホークス
オーナー代行
「会社再建の経営哲学」
- 12/3 (水)** **岸井成格** 毎日新聞社 編集委員
「小泉政局のゆくえ」

- 12/9 (火)** **跡田直澄** 慶應義塾大学商学部 教授
「小泉構造改革の論点
～税制改革の視点から～」
- 12/11 (木)** **林 望** 作家
「私的 芸術生活のすすめ」
- 12/16 (火)** **養老孟司** 東京大学 名誉教授
「話を通じない人の思考」
- 1/13 (火)** **高木新二郎** 株式会社産業再生機構 産業
再生委員長・中央大学教授
「どんな会社をどんな方法で再建するのか」
- 1/20 (火)** **柴田昌治** 株式会社スコラ・コンサルト 代表
「自分を生かすネットワークをつくる
～風土改革の現場から～」
- 1/27 (火)** **西山 茂** 早稲田大学ビジネススクール 助教授
「企業価値を高める経営システム」
- 1/29 (木)** **ケビン・D・ワン** ワゾンワイアット株式会社
コンサルタント
「創造的な組織のために
『ニワトリを殺すな』に
込めたメッセージ」

開講時間 / 18:30 ~ 20:30
場 所 / 岡山商科大学



訃報



つしんでご冥福をお祈りいたします。

本学名誉教授
安藤貞一氏が、
平成十五年七月
二十六日ご逝去
されました。つ

資格試験受験者に支援金

受講料など最大三十万円まで支給

本年度から、国家資格などの取得を目指す学生を対象とした支援金制度が設けられました。

支給対象者は本学の学部生及び大学院生で、本学社会総合研究所が主催する資格講座(通信教育も含む)を受講し、実際に当該試験を受験する者に限ります。支援金額は当該講座受講料の約1/3となっており、見事合格を果たした者には別途二万~三万円が支給されます(左上別表参照)。

申し込みお問い合わせは、附属図書館六階 社会総合研究所まで。

愛の献血

恒例の「学生会献血」が赤十字血液センターの協力で行われます。秋から冬にかけては徐々に輸血用血液が不足し、深刻化する時期。みなさん、ぜひぜひ、ご協力下さい!

日時 / 十月八日(水)
十時~十一時
十二時~十六時三十分
場所 / 学生会館前

編集後記

夏休みも、本学サークルの華々しい活躍が聞こえてきました。中四国地区で優勝をかっさらった柔道部。まさに秒殺、あつという間に相手を宙に舞わせていました。先発オーダーは完全に学生任せ。学生自身が主体的にチーム作りを行う姿が印象に残りました。中国地区で二連覇の卓球部。五月、練習場へ取材にうかがった時の、顧問 全先生の言葉「全体の写真を撮ってくださいよ!」その意味が主将の陶浪君の文(七面)を読ませていただいたて解りました。世界大会二年連続出場を勝ち取ったウェイトトレーニング部。部長前川君を中心に、真摯に取り組む姿は爽快です。まだまだ日本ではメジャーな競技とは言えないようですが、岡山国体にはエキシビジョンマッチとして開催されること。本学の活躍により、メジャーな競技への発展が期待されます。(〇)

学生懸賞論文を募集します

岡山商科大学学会

毎年恒例となりました、学生懸賞論文を募集します。次の要領にしたがって、ふるって応募ください。優秀作品は表彰され、執筆者には副賞が贈呈されます。

提出期限 / 平成十五年十二月八日(月) 十六時

提出場所 / 図書館二階カウンタ― 式 / 任意

人事異動(前回追加分)

新任(四月一日付)
附属図書館 図書館長 吉尾匡三